

わくわく学習部会

子どもたちを楽しい本の世界へ

令和2年1月28日発行 第8号



ファンタジーの皆さんは、行事や学習に関連ある本の読み聞かせを工夫してくれています。人權月間には、平和について考える心温まるお話の読み聞かせをしてくれました。12月に行われた1年生保護者対象の家庭教育学級では、「さんびきのやぎのがらがらどん」のエプロンシアターや「あたまにかきのき」の大きな紙芝居など、趣向を凝らした読み聞かせがあり、子どもたちはわくわくしながら楽しんでいました。子どもたちは、本の世界の余韻に浸りながら、ファンタジーさんに楽しかったことや驚いたことの感想を素直な言葉で伝えることができました。



わくわく学習部会

盲導犬について知ろう



3年生は、国語の授業で、働く犬について学習しました。12月19日には、白山校区にお住まいで盲導犬ユーザーの弥三川さんからお話をお聞きしました。盲導犬を間近で見て、いろいろな話を聞くことで盲導犬の大切さをより具体的に知ることができました。弥三川さんの「最初のころは、電車に乗るのも大変でいろいろ苦労があったが、最近は社会での盲導犬に対する対応が変わってきている。」「イビサはいつでも一緒にいたい子、歩くときはお仕事、家ではいやし、この子がいない生活は考えられない。」というお話を聞いた子どもたちは、イビサを働く犬として理解するだけでなく、家族の一員のような親しみを強く感じることができました。



大獅子の話



12月17日に、3年生は大獅子保存会の安西哲夫さんと安西弘さんから大獅子の話をお聞きしました。最初に大獅子の由来や制作の苦労について写真を見ながら説明を聞きました。子どもたちは制作には大勢の人の工夫と協力、時間がかかっていることや伝統を守っていくことの大切さやすばらしさを知ることができました。



にこにこ生活部会



ピカピカ大掃除



12月18日に、老人クラブと保護者約50名のサポーターの方々が参加して、ピカピカ大掃除で落ち葉かきを行いました。雨の合間をぬってがんじきを片手に各クラスの代表の子どもたちとサポーターの皆さんでいくつものゴミ袋いっぱい落ち葉を集めることができました。子どもたちは、老人会の方たちに用具の使い方を教わり、手際よく作業できました。最後に、美化委員長の児童が代表して、サポーターの方々に感謝の言葉を伝えました。また、今年度も共同募金からの助成で清掃用具を購入しました。



わくわく学習部会

フラワーアレンジメントに挑戦



12月19日の家庭科クラブでは、中柄さんと都築さんから「フラワーアレンジメント」を教わりました。子どもたちは個性を發揮して、クリスマスにぴったりのフラワーアレンジメントを思い思いに完成しました。卒業式、入学式会場となる体育館の壇上の華やかな花も、中柄さん、都築さんがボランティアでいつも美しく飾ってくれています。



川田製麺訪問



3年生は、社会科の工場見学でさぬき市にある「川田製麺」を訪問しました。子どもたちはうどんづくりの作業工程の見学や、担当者からのお話からたくさんのきらりを見つけました。



わたしが見つけたきらりは、そのつじに時間をかけていることです。そうじの時間に二時間から、二時間半もかけるそうです。おきやくさんとうんも安全に食べてもらうために、一生けん命はたらいしていることが分かりました。

川田せいめんさんのつじんは日本全国、海外にも送られています。おいしいうどんを世界中の人たちにあげて食べてほしいです。

ぼくが見つけた川田せいめんのきこりの一つ目は、一日にうどんを十五万食、十六万食も作ることです。二つ目は、工場が二十四時間はたどを続けていることです。

ぼくは大ぜいの人にうどんを食べてもらうために、くろくろくしていることを知りました。おみやげのうどんは、とてもこしがあっておいしかったです。